不等流の計算

河川断面・定型断面の不等流計算や 流下能力の計算を行います

適用基準・参考文献

■水理公式集(土木学会) ■建設省河川砂防技術基準(案)同解説・調査編 ■河川における樹木管理の手引き(リバーフロント整備センター) ■河道計画検討の手引き(国土技術研究センター)

■十地改良事業計画設計基準及び運用・解説設計『水路工』(農林水産省農村振興局)

■土地改良事業計画設計基準及び運用・解説設計『パイプライン』(農林水産省農村振興局)

製品概要

本システムは、河川断面、定型断面の不等流の計算や流下能力の計算を行います。不等流の計算で は、測点ごとの断面形状に流量を与えてベルヌーイの定理により各測点の水深、損失水頭を求めま す。流下能力の計算では「等流計算」又は「不等流計算」より計算を行うことができます。他に余裕高 (農林 ※-部除く)の計算、圧力流れの計算に対応しています。

機能詳細

計算機能および制限

■計算方法

常流として下流から上流へ計算

(仮想堤防高が設定されていない場合に、水位が堤防高を超えたり、水位が収束しない 場合は一旦、限界水水深に置換え計算を行ないます。)

2射流として上流から下流へ計算

(水位が収束しない場合は一旦、限界水深に置換え計算を行います。)

3常流·射流混在計算

(1回目の常流計算で決定された流れの型を優先し、遷移流(支配断面)になる所を抽 出し限界水深に置換え射流計算します。ここで2回目の射流計算結果が流れの型と します。混在計算の場合、常流水位と射流水位を求め各測点における共役水位を求 め、その共役水位と常流水位との交点として跳水位置を算出します。)

■限界水深・フルード数の計算方法

「水理水深(土地改良)による方法」、「井田の合成径深による方法」、「最 深水深による方法」の3つから選択します。

■損失水頭計算に使用する距離

「水平距離」、「斜距離」(水路勾配を考慮)の2つから選択します。 ■始点水位

「限界水深」、「等流水深」、「水深指定」の3つから選択します。 ■エネルギーの補正係数

エネルギー補正係数αを「1.0」、「1.1」の2つから選択します。 「a=1.1」を使うケースは次のような場合が考えられます。

複断面形で低水部と高水部での流速差が大きい場合

2川幅の急激な変化、水路の急縮、急拡などの流れの剥離が起こる場合 ③湾曲部など断面内で流速に大きな変化がある場合

●「しない」とした場合、あくまでも自由水面を持った不等流計算を行 うもので、圧力流れになった場合は、限界水深に置換え計算を行います。

2「する」とした場合は、自由水面を持つ常流の流れに対しては不等流計 算を行い、満管以上の流れに対しては、動水勾配より水位を計算します。

■計算可能な断面

流下能力計算入力画面

PER

河川断面(任意、単断面、複断面)、定型断面(矩形断面、円形断面、標準 馬蹄形断面、任意馬蹄形断面、ホロ型(Ⅰ)断面、ホロ型(Ⅱ)断面、U型断

スクリーンショット

98098

Taxa 2

Tara y





各分割断面内の流速計算を行います。

■計算可能な局所損失形状

漸角、急拡、急縮、湾曲、流入、流出、漸縮、段上げ(せき上げ背水計算)、段 落ち(低下背水計算)、曲がり(管)、屈曲、合流、スクリーン、橋脚等。 急拡・急縮による損失係数、段落ちによる損失水頭などの自動計算を 行うことができます。

🕟 出力機能

■計算書(設計条件、不等流計算、流下能力計算、余裕高計算)

■不等流計算の計算結果(常流計算、射流計算、混在計算)

■縦断図(対象ケースのみ〔常流、射流結果の指定・同時表示〕、全ケース 水 位同時表示)

■断面図

■流下能力図(左右護岸高の低い方、左右護岸指定、左右護岸同時表示) DXF出力(縦断図、断面図)

●計算結果画面 ●計算書出力1 ●計算書出力2 ●縦断図出力 e <u>RAS</u> EMBRICA STREET MAAN MAAN MAANGA -----111 A READW CANA - LAVANA EAEA/40日 正大切れた日日 - したい スキルギー単正印刷 ネキルギー単正印刷 ・しり も用いてお用します 4. 25 - 24 5 - 54 1 - 54 Unit <thUnit</th> Unit Unit <thU AND CONTRACTOR

IF SERVICE 16003

●基本データ入力画面





初期植設定	論テータ入力
	基本データ 現成データ 新聞振行 活動設定 活下能力計算 赤裕衡(農林)
計算進行	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
計算結果表示 時後回	計算モデルの確定 環境大学ンロード的の計算方法 環境大量が10 - 148.00計算方法 環境大量が加 ※ 常点して下記の上しい計算 の 単点してここと述め下示は計算 の トッルの お短ろ(第二章) の まのまた の 市に、 中心の主体のの主体の注意 の 常点・軟に混成計算 の トットMax 単分字 (外数242を中心)
801123 8. Falth 80112	は点当件 ・
	エスルダー補正作品 田田和本 田和本 田和 和

面、卵形管断面)

寸法の異なる2つの定型断面間の補間断面を自動作成することができ

レベル選択は「河川断面」選択時のみ有効となり、その他の定形断面は

レベル1 /単断面で潤辺内の粗度係数が一様な場合

レベル1a/単断面で潤辺内の粗度状況が変化している場合 レベル2 /複断面で潤辺内の粗度状況が変化している場合

レベル2a/複断面で潤辺内の粗度係数が一様な場合

レベル3 / 複断面で潤辺内の粗度状況が変化している場合

また、断面内の平均流速を算出します。

水エ

仮設

T

地盤改良

橋梁下部工

E X

エクシードシリーズ

構造解析

STEM



エスコンシリーズ

アシストシリーズ